

平成22・23年度の兵庫県後期高齢者医療保険料率が決定

後期高齢者医療制度の保険料を決める基準である保険料率(均等割額と所得割率)は2年ごとに見直されます。兵庫県後期高齢者医療広域連合は、広域連合決算剰余金の活用と財政安定化基金の取り崩しにより合計約88億円を

	平成22・23年度	平成20・21年度
均等割額	43,924円	43,924円
所得割率	8.23%	8.07%

繰り入れ、均等割額を平成21年度のまま据え置くとともに、所得割率の上昇を0.16パーセントに抑制しました。

保険料額の通知について

個人ごとの保険料額や納めかたは7月上旬に保険料額決定通知書でお知らせします。

一定の障がいがある

65歳以上の人へ

65歳以上で一定の障がいのある人(身体障害者手帳1級・3級・4級の一部、精神障害者保健福祉手帳1・2級、療育手帳A判定)は、申請により後期高齢者医療保険に加入できます。今回の保険料率の改定に伴い、保険料額を比較される人は問い合わせください。

人生80年いきいき住宅改造助成事業の利用を

町内在住で、高齢者や障がいのある人が、住み慣れた住宅で安心して生活が送れるように、一定要件の住宅改造(バリアフリー)に対して、費用の一部を助成します。申請される際には事前にご相談ください。(22年度分申請は23年2月末まで受付)

▶対象者

特別型=介護保険の要支援以上の認定を受けた人・身体障害者手帳・療育手帳の交付を受けた人
一般型=60歳以上で特別型の対象とならない人
※所得制限あり、新築や申請前に工事を着工・着手・完成されたものは対象外、当該助成を受けた世帯は再度助成を受けることはできません

緊急通報システムの利用を

町内在住で、日常生活を営むうえで常時見守りが必要な状態にある人に緊急事態が発生した場合に備え、緊急通報機器を貸与し、近隣の人の協力を得て高齢者などの生命を守ります。

▶対象者①おおむね65歳以上で一人暮らしの人②ひとり暮らしの重度身体障害者(身体障害者手帳1級または2級保持者)

※電話回線が「NTTアナログ回線」の場合のみ設置可能です

申し込み・問い合わせは 健康課(☎766-8781)へ。

問い合わせは、健康課(☎766-8781)へ。

この夏 あの“FESTIVAL”が変わります!

8・29プロジェクトメンバー大募集!

今までにないフェスティバルを企画したい人、いませんか? 世代を超えて一緒に企画運営しましょう!

約10年間実施してきた、10代(ティーンズ)を対象にした音楽フェスティバルは、2010年新たにステップアップすることになりました。

企画や運営など一緒に活動していただける「プロジェクトメンバー」を募集します。

なお、出演者の募集については、新企画決定後、町ホームページや広報いながわでお知らせいたします。

- ▶イベント実施日 8月29日(日)
- ▶イベント実施場所 文化体育館
- ▶募集数 10人程度(中学生以上、町内在住・在勤の人)
- ▶仕事内容 企画運営・司会進行など
- ▶申込方法 5月17日までに住所・氏名・年齢・電話番号・「8・29プロジェクト」参加の理由を記入し、FAXで生涯学習課(FAX766-8904)

申込み・問い合わせは、生涯学習課(☎767-2600)へ。

よこた 横田 篤志くん(左)・たくみ 拓実くん(右) 1歳(白金)



ユニークな仕草でみんなを笑わせてくれるあっくん。可愛い笑顔で和ませてくれるたっくん。2人はお父さんとお母さんの大切な宝物です。生まれてきてくれてありがとう。

はい！ポーズ



人権作文

神戸地方事務局・兵庫県人権擁護委員連合会・神戸新聞社主催
第29回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会奨励賞

トナムと友達

私は吹奏楽部に入っています。夏には、コンクールに出る他の学校と競います。コンクールに出場する学校の中でも、私たちのライバル、というよりその学校が演奏する音楽を見本にしている学校があります。その学校とは、朝鮮学校です。

私は中学校に入学して吹奏楽部に入り、コンクールに出る他の学校と競います。コンクールに出場する学校の中でも、私たちのライバル、というよりその学校が演奏する音楽を見本にしている学校があります。その学校とは、朝鮮学校です。私は吹奏楽部に入っています。夏には、コンクールに出る他の学校と競います。コンクールに出場する学校の中でも、私たちのライバル、というよりその学校が演奏する音楽を見本にしている学校があります。その学校とは、朝鮮学校です。

が心に響きました。上手い。それだけでなく、気持ちなどの学校よりも込められていました。その演奏を聞き終えたあと、それまで思っていたかわいさというものは、単なる偏見であり、とても恥ずかしくなりました。一度気持ちを入れ替えて、友達と一緒に、朝鮮学校の人の声をかけてみようと思いました。最初は不安でした。でもその不安は無用でした。相手はとても笑顔で話してくれて、日本語も決して片言ではありませんでした。

その人たちは今も友達です。友達になれてよかったと思えるぐらいいい友達です。中学一年生のころの冬、授業で在日朝鮮人のことについて何も教わっていません。コンクールで朝鮮学校の人たちが会えていなければ、私が大人になったときに偏見をもってしまうかもしれません。もちろん今からでも可能性がないとは言いきれませんが、でも、これまでの経験、朝鮮学校の人たちと出会えたこと、そして友達になれたことは、私の中で欠かせないものとなりました。でもまだまだ勉強不足です。自身の気持ちを、もっと強いものに育て、将来は日本人にも朝鮮の人にも、偏見のない世の中になっただけでいいと思います。

足立 奈央さん(猪名川町立中谷中学校 三年のときの作品)